

んです。その結果をみると、実に紙類が52%も混じっているんです。

それから、プラスチック類と厨介類がそれぞれ13%でした。

芹沢 プラスチック類も混じっているんですか。

石川 そうなんです。

プラスチック類は、本来、不燃物に入れていただきたいんです。

芹沢 不燃物の中には、どのようなものが入っていますか。

石川 不燃物については、55年に調査したんです。その結果、もせる物が13%も入っていることがわかりました。他に、びん類34%、かん類27%、金属類5%の割合でした。

大畑 不燃物といっても、いろいろなものが混じっているんですね。

石川 そうなんです。

これら不燃物の中に含まれているびんやかんなどを資源として生かそ

うというのが、10月1日から実施する分別収集なんです。

「びん類」「かん・金属類」

「埋立物」に分けて

芹沢 分別収集の一番のねらいはなんですか。

石川 分別収集には3つの大きなねらいがあります。まず、ごみ処理の経費を節減すること。次が、ごみを減らすこと。もう1つは、資源の節減です。したがって、今までの不燃物を、資源ごみと埋立てごみに分けていただきます。

大畑 どのように分けるのですか。

石川 まず、「びん類」「かん・金属類」「埋立物」に分けていただきます。なお、びん類については、2つに分けていただきます。

1つは、そのまま再利用できるもの。たとえば、酒の一升びん、しょう油びん、ビールびん、コーラびんジュースびん…など。

もう1つは、天ぷら油びん、洋酒びん、ドリンクびん…など。これらは、専門の業者によってこまかく砕かれ、原料として再利用されます。

ただし、網ガラス、鏡、蛍光灯、クリスタルガラス類は、埋立物として出していただきます。

大畑 「かん類」と「金属類」の区別はどのように…。

石川 「かん類」は、ジュースかん、かんづめかん、菓子かんなどです。

「金属類」は、なべ、やかん、ス



大畑さん

トーブ、トタン板…など。

集積場所へ

世話役的な人も

芹沢 収集方法も今までと異なると思うんですが…。

石川 今までと同じ週1回の割合で収集しますが、「びん類」を月1回、「かん・金属類」を月1回、「埋立物」を月2回というようにします。

芹沢 収集日を間違わないようにしないとイケませんね。

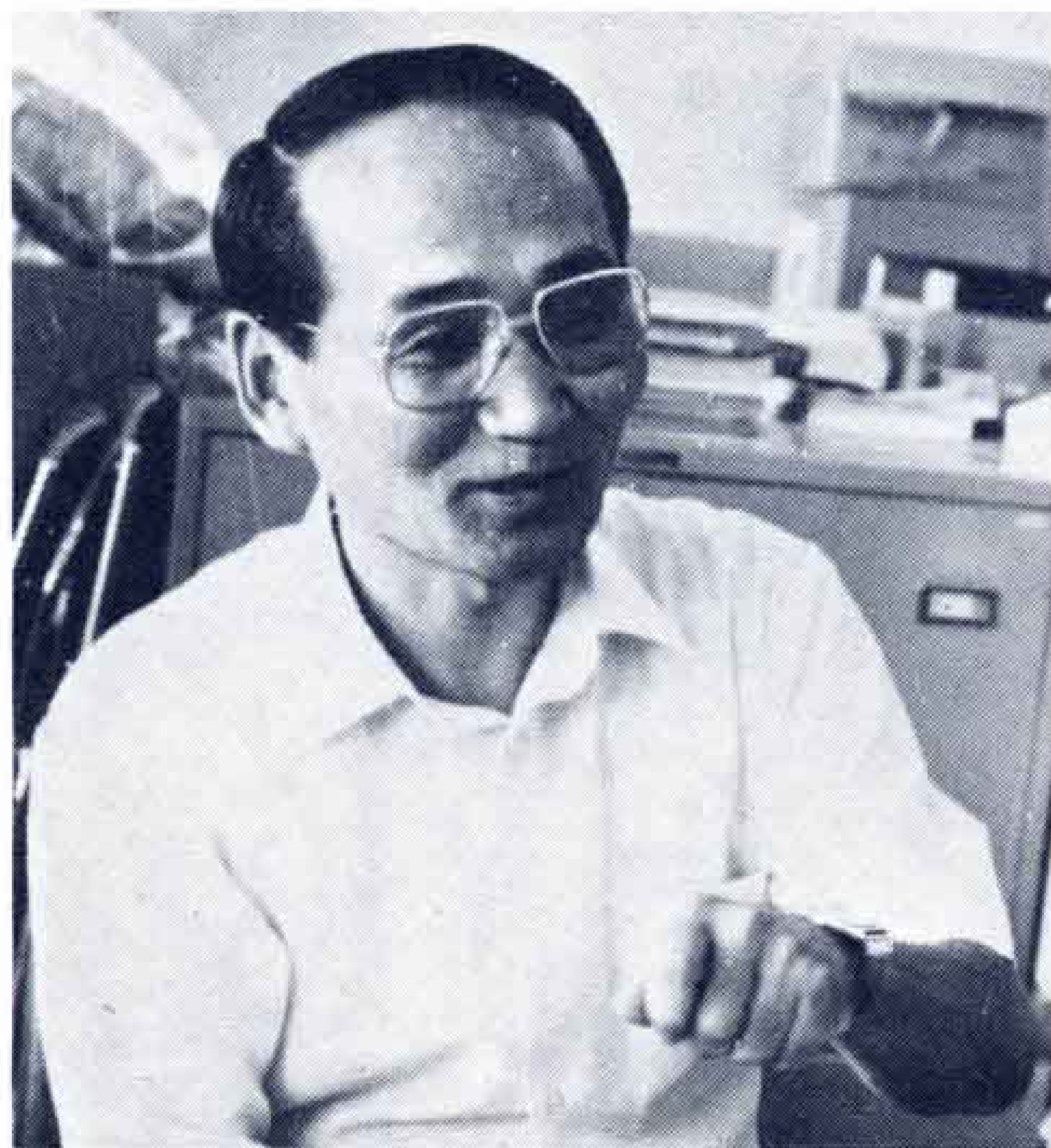
石川 そうです。市でも、各家庭へ収集日を書いた印刷物をおわけしますので、見やすい所へ貼っていただくといいですね。

大畑 集積場所はどうなるんでしょうか。

石川 集積場所は、今までよりだいぶ少なくなります。ですから、距離的にも多少長くなると思います。

芹沢 集積場所が減るということは、当然、一カ所に集まる量が増えることになりますね。

石川 そうですね。それからはじ



石川環境衛生課長



市道伝法～原田線

待望の全線開通

市道374号線(伝法～原田線)は、国道139号線(大月線)との接続工事が終了し、全線開通しました。

同線は、吉原市街地の交通渋滞を緩和するために造られたもので、三島製紙東側から伝法の伝法の大月線までの全長3,100m。吉原高校交差点西側から大月線までの区間は、昭和43年から着工されました。

同線の開通によって、吉原市街地を通過することはなく原田方面と鷹岡方面が結ばれるので、吉原市街地の交通渋滞が緩和されるものと期待されます。なお、国道139号線との接続部分は、T字路となっているため、富士宮方面へ向かう139号線からの右折と、374号線からの左折はできません。



国道139号線と結ばれた伝法～原田線